

大腸がん早期発見で健康守る

木暮院長の患者サポート⑳

国立がん研究センターによると、大腸がんは女性のがんの死亡要因の1位、男性は肺、胃に次ぐ3位となっている(2012年)。40代から罹患率が増加する大腸がんについて、消化器病専門医の木暮悦子院長(木暮クリニック)に話を聞いた。

「大腸がんは早期に治療すれば、ほぼ完治する病気です。ですが、早期の大腸がんは自覚症状が乏しく、血便などの症状が現れる頃には、ある程度病状が進行している状態です。発見の

遅れが死亡者数の多さにつながっています」と木暮院長は指摘する。

大腸がんの多い症状としては、血便、便の狭小化、便秘や下痢もしくは両方の繰り返しなどがある。「中

なかつては、便の狭小化

お勧めします」という。40歳以上は定期的に検診を受けるべきだ。自覚症状がない早期の大腸がんを見はがん検診を受けるしかない。川崎市でも40歳以上の市民を対象に、大腸がん検診を実施している。検診は問診と便の提出のみ。「検査が陽性でも、がんの可能性は5%弱です。陽性であっても怖がらず、積極的に内視鏡検査を受けてください」と木暮院長は話す。

木暮 悅子院長

昭和大学横浜市北部病院消化器センターにて工藤進英教授のもと、内視鏡技術を学んできた。「患者様から信頼されるかかりつけ医」をモットーに親身かつ的確な診療を行う。

同院は拡大内視鏡と粘膜

表面の微細な血管を観察する狭帯域光観察(NBI)システムを導入。がんやポリープの早期発見に有用な環境を整える。女性医師による検査で、女性も受診しやすい。「40歳を過ぎたら、定期的な検診を受けてご自身の健康を守りましょう」



木暮クリニック

胃腸内科 消化器内科 内科 胃・大腸内視鏡

診療時間 月 火 水 木 金 土 日 授業日

9:00~12:00 ● ● ● ○ ● ○

15:30~18:30 ● ● ○ ○ ○ ○ ○

休診日

木曜・日曜・祝日

TEL.044-870-7710
http://www.kogure_clinic.jp



Y213-0003 川崎市高津区下作延2-4-3 溝の口メディカルモール3階